

10 平成20年度競技規則・採点規則の全国高校適用

平成19年2月19日一部改正

体操競技男子・女子 共通

- 1 採点間の練習は、競技会場の条件によって認めることもある。
平成19年度は認めない。
- 2 アリーナに入れる者は、次のとおりとする。

		リーダー	正選手	補欠選手	合計	監督
規定演技	チーム	1	4	1	8	-
	個人	0	2	0		0～2
自由演技	チーム	1	4	1	6	-
	個人	1	4	0	5	0～3

- (注) (1) 監督は、男女別学校ごとに各1名とする。
- (2) チームリーダーは、原則として監督が当たることとする。ただし、
ア 規定演技では、事情により同じ都道府県の他の学校の監督又は補欠選手のうち1名が当たることができる。
イ 自由演技におけるチームでは、事情により補欠選手のうち1名が当たることができる。
ウ 自由演技における個人組では、関係監督相互の協議により、1名が当たることとする。
- (3) 規定演技及び自由演技でリーダーとならない監督は、選手の種目ごとの練習及び演技に当たって選手席に入場することができる。
- (4) 同一校の男子と女子、又は、チームと個人が同一時間帯に競技するときは、監督はアリーナ内で移動することができる。
- (5) チーム参加で予選通過した個人選手の自由演技では、チーム選手の内の1名が前項の監督に代わって入場することができる。
- (6) 女子ゆかの伴奏のために、上表のほか、チームでは補欠選手のうち1名が、個人では同校又は他の参加選手の内の1名あるいは引率責任者が、ゆかの練習及び演技の時間に音楽席に入場することができる。

3 成績順位及び表彰

次の場合は、成績順位及び表彰の対象としない。

- (1) 選手が演技すべき種目の全部を演技しなかった場合。ただし、不慮の事故等で種目の棄権があった場合、種目別選手権の表彰対象とする。
- (2) チームが演技すべき種目のうち、演技者が3名未満である種目があった場合。
ただし、
ア 0点は得点として認める。(棄権は得点なし。)
イ 競技開始後の棄権の場合にも所定の手続きを行った場合は0点とし、得点として認める。
所定の手続き(医師・審判長・競技責任者等の証明書)

- 4 公開採点はしない。
- 5 自由演技については A 得点・B 得点を標示する。
- 6 次の場合，採点規則の「不規律な態度」と見なし，下記の減点をする。
 - (1) ア 選手が学校を示す標識（マーク）を付けていなかった場合。
 - イ 異なる背番号を付けていた場合。

当該演技の得点より 0.30 減点することとする。（1 回のみ当該主任審判員が減点し，審判長に報告する。その後の種目では減点せず，審判長より未実施の種目の主任審判員へその旨連絡する。）
 - (2) 申告した演技順（オーダー）と異なる順に演技した場合，男子は当該選手の当該演技の得点から 0.30 を減点することとする。女子はチーム得点より 0.80 減点する。
- 7 得点に対して抗議することは認められない。但し A 得点への質問は、男子の場合 6 種目終了までに A 審判に行うことができる。女子の場合競技終了後 10 分までに書面で審判長が受け付ける
- 8 審判構成は従来通りとする。（高体連体操部要覧：役員編成基準に基づく）
- 9 男女ともに，着地追加補助マットを開催都道府県にて準備し，男子は使用するかしないかは選手各個人が決定する。女子は使用しなければならない。使用できる種目は，男子：つり輪・跳馬・鉄棒，女子：跳馬・段違い平行棒・平均台

体 操 競 技 男 子

平成 19 年度版高等学校男子適用規則

平成 19 年 2 月 19 日
全国高等学校体育連盟体操部
財団法人 日本体操協会
審判委員会体操競技男子部

平成 19 年度版高等学校男子適用規則作成のねらい

F I G 2006 年版採点規則が導入されてから 1 年が経過した。10 点満点が廃止され、得点は、A・B 審判分業制で難度価値点、グループ要求点、組合せ加点を加算した A スコアと、10 点から実施減点を差し引いた B スコアの合計によって算出される。この新しい採点規則は、世界中の体操関係者に対して大きな意識改革をもたらすことになった。

過年度は、ルール改訂期である国内事情を考慮して、2006 年版採点規則の適用は困難であると判断し従来の高等学校男子適用規則を一部変更して対応した。しかし、自由演技については、これまでの 10 点満点の演技と 2006 年版採点規則のもとに構築された演技では、演技構成に変化が生じ始めていることが明らかとなってきた。これは、高校生の選手育成にも影響を与えるものと推測できる。高体連技術部の強い要望のもと、今年度からは、2006 年版採点規則を基本に作成した平成 19 年度版高等学校男子適用規則を施行し競技会への対応を図ることとする。

規定演技については、従来どおり 10 点満点とする。しかし、規定演技解説書以外の実施減点については一般規則を適用する。そのため、実施減点が大きくなり、より習熟度の高い演技が求められる。

ルールが改訂されても、体操競技の本質である「美を競う」という観点から「美しい体操を身につける」「基本的な技の習熟を図る」という考え方に変わりはない。安全性に対する注意は常に十分になされなければならない。選手は、採点規則に述べられているとおり技術的に不完全で安全が保障されない技を無理に行ってはいけない。

なお、平成 19 年度版高等学校男子適用規則として、ここに取り上げた以外の規則、条項は 2006 年版採点規則が適用される。したがって、平成 19 年度版高等学校男子適用規則とともに 2006 年版採点規則や関連する男子体操競技情報についても熟知され、日本の体操界を担う高校生の指導・育成にご尽力願いたい。

規定演技の採点

1 規定演技の採点要素

- a) 解説書による演技の解釈
- b) 演技実施（技術と姿勢から）
- c) 演技の熟練性に対する加点

2 規定演技の解説どおりに行われない場合の採点

- a) 実施しなかった部分または組合せについては、該当する部分あるいはその区分のすべての価値点を減点する。
- b) 余分に行われた部分については、0.50 の減点がなされる。
- c) 指示されていない方向への実施は、演技全体から大欠点相当である 0.50 の減点がなされる。
- d) 落下による演技の中断は、30 秒以内に続行することができる。演技を順序正しく続行させるために、中断した部分を繰り返すことはできるが、その部分の採点が行わない。
- e) ゆかの演技時間は最大 70 秒であり計時審判によって確認される。演技時間の下限はない。計時審判は 60 秒と演技終了の 70 秒に音で合図する。計時される時間は、選手の足が最初に動いたときから終末技で着地をし、両足をそろえた着地姿勢をとるまでである。

3 採点における許容範囲は次のとおりとし、主審によって管理される。

9.50 ~ 10.00	0.10 を超えない
9.00 ~ 9.45	0.20 "
8.00 ~ 8.95	0.30 "
7.00 ~ 7.95	0.50 "
6.95 以下	0.80 "

4 規定演技解説書以外の減点については、一般規則を適用する。

自由演技の採点

次に示すもの以外は、2006 年版採点規則（日本体操協会発行）を適用する。

1 終末技について

- A 難度..... +0.10
- B 難度..... +0.20
- C 難度..... +0.30
- D 難度以上..... +0.50

2 技数の少ない演技等について（8 技未満の場合）

8 技未満の場合（8 - 技数）×1.00 を A 1 審判が決定点から減点する。

7 技の場合は（8 - 7）×1.00 = 1.00 A 1 審判は、決定点から 1.00 減点する。結果的には B スコアの満点は 9.00 となる。

7 技は 1 点、6 技は 2 点、5 技は 3 点、4 技は 4 点、3 技は 5 点、2 技は 6 点、1 技は 7 点を決定点から減点する。

くり返されて削除された技や同一グループ 5 技以上になってカウントされなかった技は技数に含まない。

3 難度の設定について

下記に示す技は、2006 年度版に示された難度表とは異なる難度を与える。

つり輪

- ・ 屈腕ほん転逆上がり倒立（屈腕後方車輪）C 難度、実施減点あり
- ・ 屈腕後ろ振り上がり倒立（屈腕前方車輪）C 難度、実施減点あり

平行棒

- ・ 前振りひねり支持、逆上がり支持、棒下宙返り支持、後方棒上宙返り支持
：45 度以下は B 難度で倒立位と同一技番号、実施減点あり
- ・ 前方かかえ込み宙返り下り A 難度
- ・ 後方かかえ込み宙返り下り A 難度

鉄棒

- ・ 足裏支持回転（ひねり）倒立 A 難度（グループ ）
- ・ 前方宙返り下り A 難度
- ・ 後方宙返り下り A 難度

4 禁止技について

ゆかの前方 1 1/2 宙返り転（後ろとびひねりからを含む）は禁止技とする。その実施は、価値が認められない。

5 補足

- a) 自由演技において規定演技の一部分、もしくは全部分が行われても減点はない。
- b) つり輪に対して着地用マットの使用を認める。

体 操 競 技 女 子

平成 20 年度全国高等学校適用規則

(財)日本体操協会制定採点規則 2007 年版採点規則 変更規則
全国高等学校体操競技女子規定演技(2004 年～)を適用する。

1、規定演技の採点

2003 年 8 月制定全国高等学校体操競技女子規定演技集(2004 年～)を適用。
演技の採点に関わる要素の価値、減点項目については、2002 年版採点規則を適用
演技に直接関わりない部分(オーダーミス、器具、選手・コーチの行動等)については
2007 年版第 6 条を採用する。

* 跳馬(2002 年改訂版採点規則を一部変更)

- ・ 「跳馬に隣接した着地側 1 m のゾーン」を削除
- ・ 8 . 6 . 3 第 2 空中局面の減点項目

距離

「許可されていないゾーン(1 m 区域)内への着地 0.50」を削除

「不十分 0.30 まで」を「距離が不十分 0.50 まで」に変更

2、自由演技の採点

日本体操協会制定採点規則 2007 年版採点規則 変更規則 を適用する。

* 自由演技での規定演技実施の減点(規定演技集の変更)

(跳馬)自由演技で規定演技を実施した場合、最終得点から 2.00 の減点(主審による
減点)

3、その他

* 跳馬の跳躍板については、スプリング式 2 台を準備する。

* 服装等については全国高体連適用規則に準ずる。

服装等について

レオタードについて

- ・レオタードのレッグカットは腰骨の上になってはならない。
- ・レオタードの前後の襟は，胸骨が半分以上出たり，肩胛骨の下部が出ないこと。
- ・オールタイトのレオタードは認めない。
- ・身ごろに肌色を使用することは認めない。
- ・両脇を結ぶラインより下に肌色を使用しない。
- ・ストレッチレース，ストレッチメッシュ使用のレオタードについては，身ごろが透けてはならない。（下着が見えないこと）
- ・既製品レオタードに，あとからスパンコール，ビーズ，ラインストーン，パール箔（凹凸のあるもの）をつけることは認めない。（ただし，服装業者の既製品カタログにあるレオタードは認める。）
- ・襟（チョーカー）は，身ごろとつながっていなければならない。
- ・セパレートタイプのものは，たとえ練習着であっても禁止する。
- ・団体戦におけるレオタードの統一について
原則としてチームのレオタードは同一のものでなければならない。
小柄模様については，多少の異なりは認める。
大柄模様や配色については，同一とする。
個人のレオタードは同一でなくても良い。
- ・特別注文（オーダーメイド）については，上記の内容に留意する。

平成20年度競技規則・採点規則の全国高校適用

新体操男子・女子 共通

- 1 アリーナに入れる者は、次のとおりとする。

	監督	正選手	合計
団体競技	1	6	7
個人競技	1	1	2

(注) (1) 監督は、男女別学校ごとに各1名とする。

(2) 伴奏のために、上表のほか、団体競技では補欠選手のうち1名が、個人では同校又は他校の参加選手のうち1名あるいは引率責任者が、前の演技者と当該演技者との演技の間に、音楽席に入場することができる。

- 2 伴奏機器について

伴奏は、MDとする。

伴奏機器は、主会場・サブ会場に準備し、会場のものを使用する。

ただし、練習会場においては、各校で準備する。

- 3 マットの敷き方について

はり合わせ方式のマットは、審判員側から見て、はり合わせ目が縦になるように設置することとする。

- 4 演技中の停電・選手の怪我の処置について

(1) 落雷等により競技場が停電し、伴奏音楽が停止した場合には、審判長の判断により演技を中断してもよい。再演技を行わせる。

(2) 演技中、選手が怪我をした場合、監督の判断により演技を中止させてもよい。

- 5 成績順位及び表彰について

不慮の事故等で種目の棄権があった場合、種目別選手権の表彰対象とする。

新 体 操 男 子

2006年版(財)日本体操協会競技規則・採点規則を適用する。
但し、2008年2月改定の一部を含む。

1 禁止技について

- (1) 前方1と1/2宙返り転(後ろ飛びからのひねりを含む)
- (2) 後方2回宙返り

禁止技を実施した場合には、その演技を0点とする。

2 マークは規定どおりとし、ユニフォームと区別がつくようにする。

3 同点順位の決定方法について

(A) 団体競技

- 1. 構成得点の上位チーム。
- 2. 上記の条件が全て同点の場合、主任審判員(構成・実施)の合計得点の上位チーム。
- 3. 上記の条件が全て同点の場合、主任審判員を除く8名の審判員の合計得点の上位チーム。
- 4. 上記の条件が全て同点の場合、主催団体に一任。(当該監督による抽選)

(B) 個人競技

- 1. 2種目のうち、最高得点を獲得した者。
- 2. 上記の条件が全て同点の場合、2種目の主任審判員の合計得点の上位者。
- 3. 上記の条件が全て同点の場合、主任審判員を除く8名の審判員の合計得点の上位者。
- 4. 上記の条件が全て同点の場合、主催団体に一任。(当該監督による抽選)

新 体 操 女 子

2005年版(財)日本体操協会競技規則・採点規則・シニアルールを適用する。
但し、2008年1月改訂を含む。

総則

3. 採点方式

3-2-1 点数の配分

構成の審判

D(難度) : 0~10.00点

A(芸術) : 0~10.00点

実施の審判

E : 0~10.00点

3-2-2 採点

最終得点は3つの別々の合計得点によって与えられる。

(難度+芸術)/2+実施=20.00点満点

個人演技

1. 難度の価値

1. 総則

1-1 各演技において、最高18個の難度を有することができる。

1-2 各手具の徒手の必須のグループは、難度中に最低6個必要である。

1-3 必須の難度以外の難度(その他の難度)は、各徒手の要素グループから2個ずつ入れることができる。

フープについては各徒手の要素グループからバランスよく使用されなければならない。

団体演技

1. 技術的価値

1. 総則

1-1 各演技において、最高18個の難度を有することができる。

1-2 交換の難度は、最低6個必要である。

個人・団体演技共通

2. 芸術的価値

芸術的価値は最高10.0点であり、伴奏音楽1.0点、基礎構成2.0点と特別芸術7.0点に分かれる。

【個人演技の配点】

		構成		実施
難度(D)	芸術(A)			実施(E)
10.00	10.00			10.00
難度数	伴奏音楽	振り付け		演技ミスの チェック
		基礎構成	特別な芸術的特徴	
	1.00	2.00	7.00	
難度18個 うち最低6個 必須の徒手難度	・動きと音楽の 調和 ・音楽テーマの 統一	・身体の動きの諸要素 ・手具要素 ・左右の手の均衡使用 ・アクロバット要素 ・空間、フロアーの使用 ・構成の多様性 など ・リズムカルなステップのシリーズ	・手具の使用 ・熟練度 ・独創性	・身体の技術 ・手具操作

【団体演技の配点】

構成				実施
難度(D)	芸術(A)			実施(E)
10.00	10.00			10.00
難度数	伴奏音楽	振り付け		演技ミスの チェック
		基礎構成	特別な芸術的特徴	
	1.00	2.00	7.00	
難度 18個 うち最低6個 交換の難度	・動きと音楽の 調和 ・音楽テーマの 統一	・身体の動きの諸要素 ・手具要素 ・左右の手の均衡使用 ・アクロバット要素 ・空間、フロアーの使用 ・構成の多様性 など ・選手間の連係 ・フォーメーション	・手具の使用 ・熟練度 ・独創性	・身体の技術 ・手具操作

許容について

・難度(D)

1. 難度は限りなく近い形で実施したものは難度として認める。
2. 団体においては、全員が難度を実施すること。3/5以上の選手が完全なる実施をした場合難度を認める。その他の選手はそれに準じた実施をしなければならない。
(手具の静止・落下が発生した場合、難度は認められない。)

・芸術(A)

1. 難度はDの基準に準ずる。
2. 手具操作は5人が完全に実施した場合に認める。

・実施(E)

- 上記の徒手難度の許容における実施減点、手具の落下、静止などについては、全て
2005年度版(財)日本体操協会競技規則・採点規則・2008年1月改訂ルールを適用する。

・その他

- 団体のリボンの長さは5m50cmでも可とする。

服装について

1. レオタードについては日本体操協会採点規則を適用する。
2. 練習着も含め、セパレートタイプのレオタードは禁止する。
3. 化粧・髪飾り、ピン等の光るものの使用禁止。(リボンを含む)
4. マークはレオタードの柄と区別がつくように、第 コール、第 コールで確認する。
5. マークは学校名又は校章とする。(校名は略称でも可能。)但し、頭文字のみは認めない。
6. マークを付ける位置については、ウエストラインより上とする。
7. 服装減点...0.2~0.5

《同点順位の決定方法について》

(A) 団体競技

1. 全審判員の合計得点が高いチーム。
2. 構成得点が高いチーム。
3. 主催団体に一任。(該当監督による抽選)

(B) 個人競技

1. 2種目の全審判員の合計得点が高い選手。
2. 2種目中、高得点を取得した選手。
3. 主催団体に一任。(該当監督による抽選)

平成20年度全国高等学校総合体育大会における 個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて

財団法人全国高等学校体育連盟
平成20年度全国高等学校総合体育大会埼玉県実行委員会
平成20年度全国高等学校総合体育大会熊谷市・上尾市実行委員会

(財)全国高等学校体育連盟、平成20年度全国高等学校総合体育大会埼玉県実行委員会(以下「県実行委員会」という。)及び平成20年度全国高等学校総合体育大会熊谷市・上尾市実行委員会(以下「市実行委員会」という。))は、大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関して以下のとおり対応します。

1 参加申込書に記載された個人情報の取扱い

- (1) 大会プログラムに掲載されます。
- (2) 競技会場でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

2 競技結果(記録)等の取扱い

- (1) 県実行委員会が設置する記録センターを通じて公開されます。
- (2) 認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (3) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、県実行委員会及び市実行委員会が作成する大会報告書(以下「報告書」という。)等に掲載されます。
- (4) 新記録、優勝及び上位入賞結果(記録)等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取扱い

- (1) 県実行委員会、市実行委員会、又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 県実行委員会、市実行委員会、又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。
また、DVD等に編集され、配付されることがあります。
- (3) この他、(財)全国高等学校体育連盟及び県実行委員会に許可を受けた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがあります。

4 実行委員会等としての対応について

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記取扱いに関する御承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
- (3) 個人情報等の掲載又は公開等に関する御質問は、(財)全国高等学校体育連盟事務局又は県実行委員会事務局まで御連絡ください。

連絡先・問い合わせ先

(財)全国高等学校体育連盟事務局 03-3581-5094

平成20年度全国高等学校総合体育大会埼玉県実行委員会事務局 048-830-7332